

複合型公共施設整備基本計画策定に係る市民ワークショップ

文化のまち京田辺 News 第3号

第3回ワークショップ開催について

「ひろば」となる共用空間で何をする？
まちとつながり、まちに広がる文化とは？

令和7年6月29日(日)、第3回「複合型公共施設整備基本計画策定に係るワークショップ」を開催し、総勢15名の方にご参加いただきました。

今回のテーマは【「ひろば」となる共用空間で何をする？まちとつながり、まちに広がる文化とは？】です。

「ひろば」については、共用空間の使い方に関するアイデアから一歩踏み込み、「自らやってみよう」「自分でできそうなこと」を考えていただきました。また、まちとの関わりでは「新たな文化活動の輪を広げるためにはどうしたら良いか」から深掘りして、「自分には何ができるか」を話し合っていました。

参加のおれい

本ワークショップは今回をもちまして全日程を終了いたしました。これまでワークショップにご参加いただいた皆様、またニュースレターをお手に取っていただいた皆様、本当にありがとうございました。

今後も、検討の進捗は市のウェブサイトなどで随時お知らせしてまいりますので、引き続きご注目くださいませ。



しょうぶチーム



あじさいチーム



ゆりチーム



なんでもアンケート(抜粋)

グループ内では新しい意見をお聞きする事ができ、非常に参考になるご意見をいただけたと思います。

広がる文化という
発想を考えていく事が
とても大切に思いました。

集まった人の関心が
様々で、いろいろな
意見が聞けてよかった。

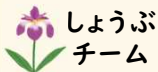
新設公共図書室が、より市民に
開かれて利用しやすい、憩いの場・
集いの場・自己学習・研鑽の
場となり、活躍の場を与えられる
図書室となることを願います。

ニュースレターの内容については、京田辺市のホームページにも掲載しています。
詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先:0774-64-1361 〒610-0393 京都府京田辺市田辺80 京田辺市役所 複合型公共施設建設準備室



グループワークでのご意見まとめ



しょうぶ
チーム

・やってみたい事

一自分が
できそうな事

「ひろば」となる共用部で何をする？

空間のイメージ

- ・外の光が入る大きなホール
→マルシェの出店ができる
- ・こどもマルシェ
→主催者
- ・外の芝生でごろ寝できる広場
(マンガミュージアムみたいな所)
→ピクニックする
- ・水遊びのできる浅い小川や水が
飛び出す噴水のある広場
→こどもを連れて行く
- ・屋内、屋外双方を併用した幼児用
スペースの確保・給水機・ベンチ等
の設置
→安心して幼児と遊べる
- ・建物の1階を広場に、屋根の
ある屋外になる

防災

- ・リサイクルベンチ、カマドベンチ、
簡易トイレとなるベンチが欲しい
- ・水、食料などの備蓄庫の整備
- ・コミュニティFMのスタジオ
(外から見える)
- ・コンサートホールの椅子は、緊急
避難時に仮眠スペースとして
活用できる作りになって欲しい

物販

- ・食文化
→京田辺の特産物をアピール
- ・京田辺の特産品が味わえるカフェ
→お客さんがSNSでシェア
- ・毎週末に食・採市場(マーケット)
を開く

図書館

- ・図書館の週末夜間開館と、施設
全体も夜間開館日を作る
- ・学習場所のない児童・生徒の
自習学習スペースの確保
- ・図書館の軒先(屋根)を大きく取り、
本の貸し出しをする
→屋外の好きなスペースで読書
できる

設置を望むもの

- ・車椅子でも楽しめるフラットな
空間
→おばあちゃんを連れてお出かけ
- ・市民の希望を募り、それを実行に
移していく
- ・京田辺の生活文化である近隣の
の付き合いを大切に文化を
基本とする

まちとつながり、まちに広がる

イベント

- ・ぶんフェス 文化継承、文化体験
→実行委員長
- ・生き方・働き方見本市(女性の
働き方についてのイベント)
→主催者
- ・屋外での映画上映
→主催、企画、スタッフetc
- ・オクトーバーフェスやたなフェス
のような大きなイベントが
できる広場
→参加したい
- ・野外ステージと音楽フェス
→一緒に盛り上げる

市の文化発信

- ・一休さんの住んだ街なので
”とんち”を町の中の店舗などに
貼って遊ぶ
- ・一休さんの歴史、周辺の文化
施設展示、ガイド説明員が待機
お茶の接待ができる
- ・観光協会が入る
- ・可能な限りそれぞれの施設の
動きが感じられる造り方にして
欲しい

収益を得るには？！

- ・総合施設に必要な維持費は
ふるさと納税でまかなう
- ・観光バスの駐車スペースを設け、
ハイキングの発着点とする
- ・歴史文化(禅・茶道・能楽)を確立
させる
- ・観光バスが駐車できて、
お茶体験ができる
- ・室内遊びができる支援センター
→市外の人でも使える(有料で)

施設について

- ・施設運営には予算をかけない
奇をてらわない
- ・夏にこども、高齢者に
使いやすいようにして欲しい



しょうぶチーム



あじさい
チーム

・やってみたい事

一自分が
できそうな事

「ひろば」となる共用部で何をする？

水

- ・入り口や廊下(外)にミストが出る
通路が欲しい
- ・雨を利用した小さな噴水(甘南備
山から山の水と緑を引き継ぐ)
- ・夏場、こども用の噴水(水遊び)

こども

- ・文化パルク城陽の室内広場の
ような子供が遊ぶ施設が欲しい
- ・赤ちゃん用の授乳室やおむつ
ルーム(自販機で販売)が欲しい
- ・雨でも利用できるように屋根が
欲しい

食

- ・京田辺推しの食材を料理する
イベント
- ・ミニマルシェ
→企画・運営

健

- ・健康麻雀を広めたい
→サブの講師

楽

- ・設備でUSBとWi-Fiが欲しい
→充電やネットがしたい
- ・1日一定額を支払って、1日フリー
ドリンクを飲める喫茶が欲しい
- ・夏場にエアコン代の出費が大きい
ので、気軽に来れて涼める空間が
欲しい
- ・屋根の上にソーラーパネル
→エアコンの電気代の足しにする
- ・ごろごろしたい
- ・エアコンが効いたところで静かに
のんびりしたい

音

- ・自衛隊の演奏会イベントを呼んで
ほしい
→京都地元とのコネクターを、
できればします
- ・イベント(くまモン)
→参加
- ・ミニライブ→企画・運営

まちとつながり、まちに広がる

冠

- ・施設全体の愛称を公募する
- ・キララちゃん音頭を作って市民
みんなで覚えて踊る

交

- ・京阪バスでもいので、もっと
増便してもらって、新施設にも
直行バスを
- ・自動運転バスで周遊してほしい
(近鉄・複合型・JR)
- ・ゴルフ場のカートみたいに、
スタートとストップボタンの自動
運転
- ・放課後、小中学校からの直通
バスを運行(もちろん帰りもなる
べく家の近郊のバス停まで送る)

情

- ・市民グループのハブ機能
→企画・運営
- ・既に活動している文化団体が、
複合施設に来れるようにして、
一つの場所でも共有できる
- ・市民活動の体験の場
→参加



あじさいチーム



ゆりチーム



ゆり
チーム

・やってみたい事

一自分が
できそうな事

「ひろば」となる共用部で何をする？

食べる

- ・屋内
→お茶の知識、試飲
- ・屋内、カフェ
→海外の方も気軽に
ふらっと来られる
コミュニケーション
スペース
- ・半屋外/芝/海外の
大学みたいな空間
→ランチ持ってシート
広げてくつろぐ
- ・屋外
→こどもが出店できる
マルシェ

設備

- ・モニタメント(映える
モニタメントがあれば
人が集まりやすい)
- ・災害時及び防災の
考えられている広場
- ・屋内空間と屋外広場
をスムーズに出入り
できる空間が欲しい

イベント

- ・屋外での語りや
お話し会
- ・四季のお祭り
(集人舞など含め)
- ・広場でフェス
→高槻市のこぶん
フェスのような
- ・地元出身の作家さん
やクリエイターの
作品など市民に発信
するために展示

子育て・教育

- ・小中学校からの
校外学習体験
- ・小学生の市役所
お仕事体験

夜

- ・夜も使えるスペース
(照明あり、
アルコールOK)
- ・ちょっとしたライブ
ありの大人の空間
健全な夜を過ごす

音楽

- ・屋内+屋外連動
した空間
→音楽コンサート
- ・音響設備
(スピーカー、
マイク、Wi-Fi)
- 主催者が使える
レベルでOK
- ・雨になってもOKな
屋根付き野外
ステージ
→市民による
なんでも発表会
- ・屋外広場
コンクリートがいい
(雨の日でも利用
できるように)
- 天気によって左右され
ないイベント開催を
実現
- ・屋内広場の壁に
展示スペース
→市民が自分の作品
を発表

まちとつながり、まちに広がる

イベント

- ・(他市も巻き込んだイベント)
- ・ロードバイクイベント
→イベントコースを提示できる
ガイドライダーができるエイド
ステーションの提案。
- ・他市のイベントの紹介。
ガイド仲間や繋がりを紹介。
広場を受付場所にする。
- ・エイドでは地元の特産物をふる
まい、宣伝も兼ねる。
- ・ロードバイクの楽しさや京田辺
市の良さを伝える
- ・まち全体で英語に親しむイベント
- ・こどもが出店できるイベント・
フェス
→こどもにやらせてみたい
- ・まちかどコンサート/まちかど
展示、市内の飲食店やちよつと
したスペースでパフォーマンス、
気軽に文化に触れられる
- 京田辺文化協会と企画・運営
したいと考えている
- ・英語での掲示物、看板
→インパウンドの為だけではなく
こどもたちが自然と英語を目に
する

他市と連携した 京田辺市の発信

- ・つながり:京田辺がまわりとの
つながりの場だった
- 他の都市との展示連携
(常設展に加えて、特別展示)
- ・”たなカル”文化に興味がある人、
やってみたい人などが気軽に集う
場
- 文化を通じた人のつながり作り
- 色んな体験ができるワーク
ショップ型イベント
(市内各所で定期開催)
- ・市内の公民館と連動したイベント
/各地域の自慢やすい人を発表
→企画・運営したい
- ・地域の公民館の積極的活用
→文化イベントなどの開催サポート、
コラボなどやってみたい
- ・市内で活動するサークルさんの
ワークショップ(活動をこどもたち
に紹介) 各活動場所にて
- ・まちの”すこいひと”
(文化人・芸術家・好事家)を発掘
プロジェクト 市民から自薦・他薦